

ふくしま共創のまちづくり計画

北信地区（素案）

地域ビジョン

「やすらぎと潤いのある 安全・安心なまち」

- 子どもから高齢者まで、地域住民が生涯にわたって健康で心豊かに誇りをもって暮らせるまち
- 地域の自然と共生した、にぎわいと活力あふれるまち
- 地域住民が互いに助け合い、犯罪、事故を防止し、災害に強い安全で安心なまち
- 農作業体験や食育を通して、農業の役割の大切さを次世代に引き継ぐまち



【山王宮日枝神社（余目）】

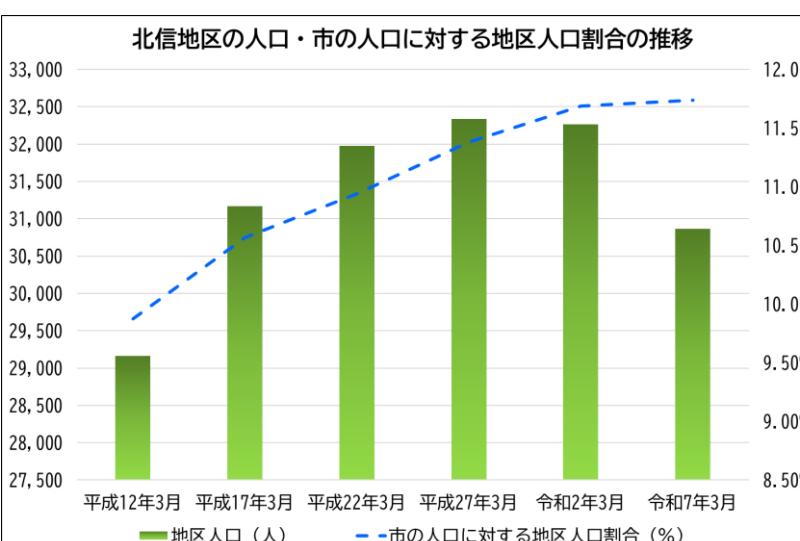
地域の個性

- 【位置】** 北信地区は、市域の東北端に位置し、鎌田、瀬上、余目の3地区から構成されており、阿武隈川、摺上川、松川などが周辺を流れています。
- 【公共交通機関】** 地区内を国道4号、国道13号、福島北幹線（県道飯坂保原線）などの主要幹線道路が通っており、東北自動車道、東北中央自動車道のICへのアクセスもしやすい環境です。鉄道はJR東北本線、阿武隈急行線が通っており、JR東福島駅と阿武隈急行線卸町駅・福島学院前駅・瀬上駅・向瀬上駅の計5つの駅が設置されています。
- 【公共施設等】** 地区内には鎌田、瀬上、余目、矢野目の4つの小学校と、市内で最多の生徒が在籍する北信中学校、伝統ある商業教育の拠点校である福島商業高校があるほか、福島学院大学、県教育センター、大原看護専門学校などの教育機関や、多数の医療施設、福祉施設が立地しています。
- 【農業】** 周辺市街化調整区域には優良農地が広がり、リンゴ、モモ、ブドウ、サクランボなどの果樹や米の生産が盛んに行われています。
- 【商業】** 南側には本市の青果物、水産物、花きなどの流通拠点である公設地方卸売市場と、卸売業者や問屋が集積する卸商団地があります。西側には福島北土地区画整理事業によって大規模小売店や様々なロードサイドストアが数多く出店し、市内有数の商業地となっています。摺上川北側と阿武隈川沿いの工業団地には、食品関係をはじめ多様な工場が立地しています。
- 【名所・旧跡】** 観光・歴史資源として本市でも知名度が高い山王祭りが行われる日枝神社のほか、奥の細道に関する史跡、陣屋跡、館跡などの遺跡や神社、寺院が残されています。



【島貫本家（瀬上）】

作成：北信地区ふくしま共創のまちづくり計画策定懇談会
事務局：北信支所内
電話：(024) 554-1111



北信地区の基礎データ (R7.9末現在)		
項目	北信地区	市全体
面積	17.28km ²	767.72km ²
人口 (人)	30,739 (市全体の11.7%)	262,122
15歳未満	3,838 12.5%	29,778 11.4%
15~64歳	18,394 59.8%	148,788 56.8%
65歳以上	8,507 27.7%	83,556 31.9%
世帯数	14,543世帯	125,001世帯

地域の取り組みの実績

- 各地区での祭り、運動会などの開催：各地区で夏祭り、神社等での祭礼、スポーツ協会主催の運動会の開催や、宮代水源地跡地での「ごちゃまぜお花見会」などで、世代間や住民同士の交流を図っています。
- 各種サロン活動の実施：高齢者や子どもを対象としたサロンが運営されており、高齢者同士や子育て世代のふれあいの場として、特色ある内容で活動しています。
- 地域文化の継承：小学校での高齢者から昔あそびを教わる時間や、地区の伝統工芸である「福島だるま」の絵付け体験を通じて地域文化の継承を行っています。
- 福島学院大学との連携：「ごちゃまぜお花見会」の企画・運営をはじめ、地元小学校での読み聞かせなどを通じて、大学と地域の連携を進めています。
- 花いっぱい運動：町内会と各種団体が連携して花苗を植栽し公共施設へ届ける活動や、宮代水源地跡地の桜の維持管理など、地区内の美観形成に努めています。
- 環境美化活動：河川敷等を含めた地区内の公園清掃や、ポイ捨てのない美しいまちづくりの推進など環境美化に取り組んでいます。
- 登下校時の見守り活動：児童・生徒の登下校時に街頭での立哨活動を行っています。
- 防犯・非行防止パトロールの実施：各町内会や青少年健全育成推進会が防犯や非行防止のパトロールを行い、安全安心なまちづくりに取り組んでいます。
- 防災への取り組み：地区防災訓練を4小学校区持ち回りで実施し毎年約200名が参加しています。また、独自に訓練を行う町内会もあり、災害時に自身・家族の安否を伝える「無事ですタオル」を作成するなど高い防災意識を持ち、日ごろから災害に備えています。
- 農作業体験活動：小学校で年間を通じて果樹栽培の体験学習を実施しています。また、果物を加工したジャム作りに取り組み、食育学習にもつなげています。

地域の強みとなる資源

- 調整区域等に広がる優良農地
水田や多彩な果樹畠などの優良農地が広がっており、その維持のために多面的機能支払交付金事業を活用して、地域資源の保全管理を継続して推進しています。
- 後世に伝えたい名所、旧跡の歴史的財産
歴史的・文化的価値のある名所、旧跡が数多く存在します。

(3) 生活関連施設等の充実

大型スーパー、専門店、ホームセンター、病院、福祉関連施設などが多数立地しています。
北土地区画整理地内の旧南矢野目市有地では、新たな複合商業施設が出店予定であり、地域住民の利便性向上が期待されます。

(4) 郷土愛の醸成

地区的祭りや太鼓保存会などの活動を通して、世代間交流が図られており、地域での担い手確保につながっています。

(5) 教育関連施設と地域の連携

福島学院大学や県教育センター、大原看護専門学校が所在し、若い世代が地域事業に関わっています。

(6) 防災に対する意識の高さ

地域内4小学校区の持ち回りで毎年防災訓練を実施し、地域防災力の向上に取り組んでいます。



【地区的夏祭り】

地域課題

- (1) 狹あいな生活道路の解消、信号機設置などの交通事故防止対策
- (2) 蝦川、耳取川、胡桃川などの中小河川や用排水路における内外水被害に対する治水対策
- (3) 子どもの遊び場づくりを含めた健全育成への取り組み
- (4) 地域の伝統・文化の継承、史跡等の保護
- (5) ひとり暮らし世帯や高齢者のみ世帯の増加に対応した、地域コミュニティ対策や要配慮者の生活支援対策
- (6) 安全で安心して住み続けるための住環境の整備
 - ① 高齢者が利用しやすい移動手段の検討
 - ② 自主防災組織の強化
 - ③ ごみの不法投棄対策
 - ④ 空き家・空き店舗の対策
- (7) 健康長寿を目指し、誰もが自然に健康づくりに取り組めるまちづくり
- (8) 次世代を担う人材の育成



重点的な取り組み

I 身近な環境保全

- 【方針1】地域の身近な環境を保全します。
- (継続) 農作業体験や市場見学など、地域の特色を生かした体験活動を実施します。
- (継続) 河川敷を含め各地区の公園や学校周辺の美化活動（ごみ拾い、除草）を実施します。
- (継続) 花いっぱい運動に取り組みます。
- (継続) 宮代水源地跡地に植栽した桜の維持管理に取り組みます。
- (継続) ごみのポイ捨てや不法投棄の対策を実施します。

II 安全・安心なまちづくり

- 【方針1】地域の交通安全と防犯対策を実施します。
- (継続) 各地区的防犯パトロールや交通安全対策を行います。
- (継続) 登下校時の見守り活動など、地域ぐるみで児童・生徒の安全確保と健全育成に努めます。

【方針2】安心して住み続けるためのまちづくりを推進します。

(新規) 高齢者の日常生活での足の確保を検討します。

(新規) 空き家・空き店舗の把握に努め、所有者等に対し管理についての情報提供に取り組みます。

【方針3】災害に強いまちづくりを推進します。

(新規) 全ての地区で地区防災マップ・地区防災計画の策定に取り組みます。

(継続) 避難訓練の拡充など自主防災組織を強化します。

(継続) 災害時に自力での避難が困難な高齢者・障がい者などの避難行動要支援者への支援方法について検討します。

(新規) 内水氾濫への備えとして、道路側溝の清掃実施や市の出前講座受講により意識向上を図ります。

III 歴史・文化・世代間交流

【方針1】歴史資源を保全し、後世に伝承していきます。

(新規) 史跡等の認知度を高めるため、情報発信の強化に努めます。

(新規) 地区での祭礼や「福島だるま」の絵付け体験等を通じて世代間交流を図るとともに、文化の継承に取り組みます。



【福島だるま（鎌田）】

【方針2】世代間交流を推進します。

(新規) 太鼓保存会など各地区での伝統・文化の継承を通じて地域内の若者との交流に努めます。

(新規) 福島学院大学と地域が連携しながら、「ごちゃまぜお花見会」を継続して開催します。

(新規) 各地区で開催する運動会、各種スポーツ大会、健康ウォークラリー等への若年層の参加を促します。

IV 健康・福祉

【方針1】住民と関係団体が連携して、地域全体で健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を図ります。

(新規) 地域全体で身近な健康の話題や健康づくり活動の情報を共有し、生活習慣病の予防、運動習慣の意識付け、特定健診の受診率向上など健康寿命の延伸に取り組みます。

(新規) 「ごちゃまぜお花見会」などのイベント開催時に、健康づくりにも一緒に取り組みます。

【方針2】一人ひとりが健康への意識を高め、主体的に健康づくり、体力づくりに取り組みます。

(新規) 「いきいきもりん体操」「健脚チェック」など年齢や性別に応じた健康づくりに取り組みます。

【方針3】高齢者の仲間づくりや生きがいづくりを支援します。

(拡充) 各地区で高齢者が気軽に集える場として、サロン活動の活性化を図ります。

V 次世代への引継ぎ

【方針1】若者世代や女性の社会参加を推進します。

(新規) 各種懇談会や自治振興協議会等への若者・女性の参加を促し、次世代の地域を担う人材の育成に努めます。

(新規) 子育て中の方が社会とのつながりを意識できるよう、サロン活動に取り組みます。

【方針2】地域への定着につながるよう、子育て世代にとって魅力あるまちづくりに取り組みます。

(新規) 地域で活動する各種団体が連携して、子育て世代が集い、住みやすいまちづくりに取り組みます。